

「サステナブルイベント・MICEチェックリスト」 230 項目をどう活かす？

～株式会社ジールアソシエイツに学ぶ「サステナブルチェックシート」の作り方～

by JACE サステナビリティ委員会

2026/09/24

SDGs やサステナビリティへの取り組みが企業に求められる中、「何から始めればいいのかわからない」と悩む企業は少なくありません。

JACE のサステナビリティ委員会ではイベント業界のサステナビリティ化を推進するために「イベント・MICE 関係者のための使いやすいサステナビリティガイドブック」（以下「ガイドブック」と表記）・「サステナブルイベント・MICE チェックリスト」（以下「チェックリスト」と表記）の活用を提唱しています。

今回は JACE 会員企業であり、サステナビリティ委員会参加企業でもある株式会社ジールアソシエイツ（以下「ジールアソシエイツ」と表記）のガイドブック・チェックリスト活用事例をご紹介します。

同社ではガイドブック・チェックリストを活用し、自社のリソースや強みに合わせたオリジナルのサステナブルチェックシートを作成しています。

これからサステナビリティ推進を本格化させたいと考えている企業の皆様へ、自社のサステナビリティ推進や、実際の業務にチェックリストを活用してサステナブルな取り組みを推進するジールアソシエイツに JACE サステナビリティ委員会のメンバーがお伺いし、座談会形式でサステナビリティへの取り組みに関して意見交換いたしました。

株式会社ジールアソシエイツのサステナビリティ推進の紹介

1. プロジェクトの目的

「自社らしいサステナビリティの定義」を見つけること。

- サステナビリティを実際のイベント企画にどう落とし込むかを明確にする
- 取り組みを通じて、自社のパーパス（存在意義）と連携させる
- 最終的に「自社独自のサステナビリティ行動指針」を確立する

2. プロジェクトを牽引する多様なメンバーたち

全社的な取り組みにするため、営業、マーケティング、クリエイティブ、プロダクトの各部門から、20 代～60 代という幅広い年代のメンバー5 名を選出。



■プロジェクトメンバー

- 照井 秀浩さん（取締役 専務執行役員）
- 福島 美月さん（営業統括本部／新規顧客メイン）
- 難波 大叶さん（マーケティング局／ブランディング担当）
- 佐藤 昌栄さん（クリエイティブ局／一級建築士、内装・店舗設計担当）
- 知念 太郎さん（プロダクト局／安全管理委員）

3. 230 項目からの厳選！チェックリスト作成プロセス

JACE が提供するチェックリストの項目は 230 項目。これをそのまま現場で使おうとすると、「圧倒的な量」として心理的ハードルが上がるため、メンバーは、リストを「やらなければならない強制項目」ではなく、「ビュッフェ形式のように選択できるもの」として提示し、社員が主体的に関われる仕組みを模索し、以下のステップで項目を絞り込む作業を実施しました。

項目を絞り込む 3 つのステップ

1. コンサルタントの助言を採用

「すべてやる必要はない」というアドバイスをもとに、自社の強みである「企画」にフォーカスして項目を整理。

2. 独自のポイント制で評価

チェックリストの 230 項目に対し、自社の事業やパーパス“楽しいを創る”と照らし合わせてメンバー各自が点数化。若手とベテランの視点の違いを活かしながら、

「自社に向いている/向いていない」の振り分けを行い、その中でも業務内容に照らし合わせて優先度を踏まえて整理。

3. 現場メンバーが活用できる項目数に

ポイント上位の 50 項目を抽出し、最終的に「継続して取り組みやすい 30～50 項目程度」を妥当なラインとして設定。

自社のリソースに合わせて柔軟に設定し、今後の実施実績や会社の成長に応じて項目を見直していく方針。

4. チェックリストを企画にどう活かす？

完成したチェックリストは、実際の現場でどう機能するのか。

サステナビリティ視点を取り入れることで、企画をさらに面白く・価値あるものにブラッシュアップできるか。

メンバー5名が過去の実施案件をベースに、チェックリストを活用することでどのようにすればサステナブル化することができるのか再検証するディスカッションをおこない、チェックリストの活用方法を見せていただきました。

【サンプル案件】

- **イベント概要：**カジノを含む IR 施設がある「ABC 市（海外都市）」の、カジノ以外の多様な魅力（歴史・食文化・安全な観光環境など）を伝える PR イベント
- **ターゲット・会場：**秋葉原のオタク文化に関心のある層をターゲットに、同エリアのイベントスペース（約 900 m²）で実施
- **企画の中心課題：**
ABC 市の魅力を体感できる「体験型コンテンツや展示」の考案
- **構成要素：** メインステージ、体験型コンテンツ（展示・フォトスポット等）、関連団体の出展ブース（9 コーナー）、キッチンカー等の飲食コーナー

上記概要に対し、チェックリストと照らし合わせ企画を再検討した結果、メンバーの皆さんから以下のようなアイデアが出されました。

メンバーによるディスカッションポイント

- **サステナビリティを「企画の切り口」に**
ターゲットであるオタク文化層に向け、あえて「サステナビリティすぎる」展示を行うことで共感を生む（福島さん）。これを単なる制限・義務ではなく、クライアントへの「提案のギャップ」という新たな切り口として捉え直す（難波さん）。
- **多様性（D&I）への配慮**
ターゲットを日本人に限定せず、外国人観光客、車椅子利用者、子供連れなど幅広く想定し、バリアフリーな動線設計や多言語・ハラル対応などを提案（福島さ

ん)。

- **資源の有効活用とコスト削減の両立**

使い捨て資材を避け、複数都市への巡回を見据えた「再組立可能な木工造作」を提案（知念さん）。さらに、リース可能なシステム部材やトラスの活用を組み合わせることで、デザインの自由度を高めつつ環境負荷とコストを下げる（佐藤さん）。

- **AIを活用した多言語での安全管理**

海外系の施工会社が入ることを想定し、職人向けにAIを活用した「多言語対応の安全管理シート」を作成し、リスク管理を徹底する（知念さん）。



企画立案におけるリストの運用ルール

- 最初からリストに縛られて企画を考えるのではなく、「まずは自由に企画を作り、その後にリストと照らし合わせて修正・改善を行う」というプロセスが有効的に活用するフローになっていくと考えている（佐藤さん）。

5. 今後の展望：現場からボトムアップで作る行動指針

- ジールアソシエイツでは、サステナビリティに対する基本的な方針を定め、すでにさまざまな取り組みを進めています。

今後は、その内容をさらに深化させ、より高い水準で実践できるサステナビリティのあり方へと高めていきたいと考えています。

そのために大切にしているのが、「トップダウンで押し付けるのではなく、現場からつくっていく」という考え方です。

まずは分かりやすくサステナビリティを知るためのカードゲームなど、誰もが参加・実践できる身近な活動から始め、そこで得られた体験や気づきをひとつひとつ積み重ねていく。

そして、それらを現在の方針や行動指針に反映しながら、より実践的で自社らしいものへと磨き上げていきたいと考えています（照井さん）。

6. JACE サステナビリティ委員会との意見交換

今回の取り組みは、チェックリストの活用方法として、一つの理想的なモデルケースだと感じています。

230 項目あるチェックリストの中から無理なく始められることや続けられることに絞っていくことは、最初の一步を踏み出す上で非常に取り入れやすい方法であると考えています。また、この過程で、D&I に関する取り組みが多いことに気が付いたと伺いました。サステナビリティというフィルターを通して自分たちの強みが明確になっていったことも結果的にはありますが、膨大な内容に向き合う必要性がジールアソシエイツ社のさまざまなポジションや年代の社員の共同作業を生み出したことで、多くの社員にとって自分ゴト化が進められ、理解されやすいチェックリストの項目が完成したと感じました。

このチェックリストがジールアソシエイツ社のパーパスと連携することで、双方がさらに強固なものとなっていくと思います。

今後、企画・実施案件で実績を積み重ねていく中でジールアソシエイツのサステナビリティ指針が整えられていくと伺っています。このガイドブックやチェックリストを作成した意図を理解して活用いただけている事例となります。このようなケースを参考にさせていただきイベント業界の各社にチェックリストを活用いただきたいと思います。



JACE サステナビリティ委員会参加メンバー※順不同

越川延明（株式会社セレスポ）、村松加奈江（株式会社博展）竹嶋理恵（株式会社電通）、森下慎一（株式会社東急エージェンシー）、高森雅浩（株式会社乃村工藝社）、照井秀浩（株式会社ジールアソシエイツ）、松本秀之（株式会社フロンティアインターナショナル）

イベント制作や企画立案で活用できるガイドブックやチェックリストは、下記リンクよりダウンロードいただけます。ぜひサステナビリティ推進の第一歩としてご活用ください。

[【リンク】 イベント・MICE 関係者のための使いやすいサステナビリティガイドブック](#)

[【リンク】 サステナビリティイベント・MICE チェックリスト](#)

■関連記事

▼230 項目をどう「自分ごと化」する？ ジールアソシエイツに学ぶ、
現場発サステナブルチェックリストの作り方（1）

https://www.event-marketing.co.jp/jace_sustainability_casestudy_1

▼230 項目をどう「自分ごと化」する？ ジールアソシエイツに学ぶ、
現場発サステナブルチェックリストの作り方（2）

https://www.event-marketing.co.jp/jace_sustainability_casestudy_2